

# 職場の意見を大会へ

## 委員会で活発な論議



団結ガンバロウ

7月5日(水)、福岡市内で第8回総支部委員会を開き、第20回定期全国大会および西本部第20回定期大会に臨む「九州総支部の態度」を決定した。

「総支部執行委員長 あいさつ」に立った田畑委員長は、熊本地震への対応、2017春闘の取り組み、今後の事業運営を見据えた人員政策等への対応、政治情勢と第25回参議院議員選挙に向けた対応、平和の取り組み——等に触れ、あいさつした。

引き続き、総支部より、2016年度第2・四半期会計報告および監査報告、第20回定期全国大会ならびに西本部第20回定期大会に臨む九州総支部執行委員会の態度(案)、西本部第20回定期大会特別代議員の選出——等について報告・提案を行なった。その後、質疑・討論を行ない、認識を合わせた上で、各級大会に臨む九州総支部の態度を決定した。

主な質疑もようは以下



発行所  
NTT労働組合  
九州総支部  
〒812-0013 福岡市  
博多区博多駅東3-2-28

TEL 092-714-8296  
FAX 092-461-2242

発行責任者  
田畑忠治  
編集責任者  
久保里美

### 旬感

#### 働く者の視点に たった政治の実現

今後の国政選挙にも大きく影響するといわれ、注目された東京都議会議員選挙は、7月2日投開票が行なわれ、小池・東京都知事率いる「都民ファーストの会」が大躍進するとともに、自民党が大敗し、おごれる安倍1強政治に対する「不信任」ともいえる結果となった。

「森友学園」や「加計学園」の問題では、安倍首相のみならず、首相夫人や側近ともいわれる官房副長官らの関与が問われているにも関わらず、やじや「印象操作」等といった答弁を繰り返し、説明責任を果たし



副委員長(大分エリア)  
藤本雅史

ていないことは誰の目にも明らかであるとともに、「一つ一つていねいに国民にわかりやすく説明していく」とは程遠く、国民の疑念を払拭する十分な審議が果たされているとはいえない状況である。

私たちは、引き続き、働く者の視点にたった政治の実現をめざし、政治啓発活動の取り組みを進めていくとともに、今後行なわれるであろう衆議院議員選挙をはじめ、2年後の参議院議員選挙では推せんするすべての候補者の勝利に向け、準備をすすめるなければならない。

下のとおり。

#### 【主な質疑もよう】

##### 2017春闘の取り組み

月例賃金改善や特別手当のさらなる上積みを図るなど、今次春闘の結果は一定評価するものの、一部の雇用形態の改善が図られなかったことについては、課題が残ったと認識することから、2018春闘では、事業運営において重要な役割を担う



あいさつする田畑委員長

ている有期・無期雇用者および60歳超え契約社員の見直し改善を強く求める。

#### 《総支部見解》

総支部としても同様の課題認識を持つことから、今後は、雇用形態ごとの位置づけ・役割や働き方など通年的な会社対応を求めるとともに、雇用政策や処遇のあり方を含めた人材戦略等については、「働き方改革」等の論議動向を注視しつつ、政策論議を行なう必要があると認識する。

#### サポート手当の創設

フルタイム勤務者以外へのサポート手当の対象者の拡大を求める。

#### 《総支部見解》

中央本部としては、継続課題として位置づけ「同一労働同一賃金」の論議動向を注視しつつ、会社対応の(2面へつづく)

### はっちゃんねる

#### 危機管理が大事

今年は、梅雨入り後、雨が降らない日々が続いている。私の実家も田んぼに水がたまらず、田植えが例年よりも遅くなった。無事に田植えも終わり、ようやく本格的な夏が来ると思った矢先、九州北部地方をここれまで経験したことのない豪雨が襲い、甚大な被害が発生した。一部の地域では、例年の7月、1カ月分の1.55倍の雨量が1日で降ったと言われている。被災された方々に心からお見舞いを申し上げる。テレビ等で、川が氾濫し、土石流が家屋を飲み込む映像を見ると、住民の方々の恐怖は計り知れないと思っただけで、近年、いたるところで自然災害が多発している。危険を感じたら、速やかに安全な場所に避難するなど、の行動を起こすことが大事だと感じた。



(松尾 和寿)

(1面からつづく)  
強化を図るとしており、  
総支部としても同様の  
認識で、意見提起等を行  
なっていく。

### 創設 教育・人財育成基金の

教育・人財育成活動  
は重要と認識するが、  
「ストライキ資金」の  
運用益の一部を活用す  
ることについては、広  
く組合員等へ周知・共  
有を行ない、理解促進  
に努める必要があった  
のではないかと。

### 《総支部見解》

「教育・人財育成基  
金」の創設にあたり、



委員会もよう

西本部労  
働政策検討  
委員会にお  
いて、事業  
動向や働き  
方の変化等  
財務状況な  
どをふまえ  
つつ、継続  
的に検討さ  
れていると  
ころである  
が、他企業  
本部とも連  
携しつつ検  
討する課題  
もあり、一  
定の期間を

要することについ  
て、西本部の見解  
が示されている。  
総支部としては、  
態度でも示してい  
るとおり、時間軸  
を意識した検討促  
進を引き続き要請  
していく。

### 人員政策

「飛躍のステ  
ージへ」に向けた人  
員配置の論議が行  
なわれているが、  
今後の人員配置に  
あたっては、県域  
エリアの人員状況

や年齢構成、雇用形態  
等の実態等をふまえ、  
中長期的な視点に立ち  
効果的な配置となるよ  
う対応を求めめる。  
グループ会社採用社  
員の配置等については、  
モチベーションの維持  
・向上につながるよう  
労働条件および処遇改  
善など、論議の促進を  
求める。

非正規雇用者のキャ  
リアップについては、  
中途採用社員の採用枠  
拡大を求めめる。  
《総支部見解》  
①「飛躍のステージへ」  
に向けた人員配置の論  
議は、西本部労使間で

論議が開始されており、  
今後、具体的な解明等  
が行なわれることとな  
る。総支部では、退職  
等による人員減少や事  
業環境の変化による業  
務量の変化等への対応  
として、効果的な業務  
運営に向けた見直しや  
センタ系業務の1拠点  
化等、各種施策に取り  
組んでいる。今後も各  
エリアにおける人員状  
況や業務量の変化をふ  
まえつつ、労使対応を  
行なっていく。

### 平和活動

「2017沖縄ピー  
スアクト」に全国か  
らスタッフ等を派遣し  
ていただいたことに感  
謝申し上げる。引き続  
き、沖縄の置かれてい  
る現状を全国の仲間  
に発信し、職場や家庭  
などへ裾野を広げる活  
動を展開していく。  
「西本部平和基金」  
を活用し、「原爆許す  
まじチャイム」の設備  
を更改していただいた  
ことに感謝申し上げる。  
「原爆許すまじ」のメ  
ロディを通じて、NT  
T労組の仲間の「風化  
に抗する思い」を次代  
へ伝えていくこととす  
る。

《総支部見解》  
NTT労組は、これ  
まで「平和なくして労  
働運動なし」を運動の  
大きな柱として平和の  
取り組みを進めてきた。  
引き続き、「平和の尊  
厳」「戦争の愚かさ・  
悲惨さ」「被爆体験」  
を風化させることなく、  
次代へ語り継ぐことが  
重要との認識のもと、  
各種行動に積極的に参  
加・参画することとす  
る。また、沖縄におけ  
る課題については、日  
本全体の課題として捉  
え、沖縄の実情につい  
て、全国の仲間へ発信  
するとともに、沖縄分  
会とも連携し、各種行  
動を積極的に展開して  
いく。

## 分会からの 発言者
